

第15回 自己評価結果

(3)適切な組織体制の構築										
トルネ	タイトル	項目番号	項目	出来ている	ほぼ出来ている	出来ていない事が多い	全く出来ていない	コメント	改善策	運営推進委員様からのアドバイス
①	組織マネジメントの取組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている		10	1		急に通いが増えたときの変更ができていないと思う 宿泊が多いときの早番も工夫が益々必要となっている 利用者人数と職員人数のバランスが噛み合っていないときがある 利用者人数に応じて職員の人数を調整できている 日曜日、祝日は人材配置が手薄になる傾向にある コンプライアンスはクリアできていても手薄に感じる時もある 利用者人数が増えている、不足を感じることもある 朝夕など手薄なときがある	小規模多機能の柔軟性はメリットではありますが、朝の時間が大変になって来たと思いません。 現在の人員よりフルタイムをさらに1名増員することを検討	—
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等に適切に反映させている	4	6	1		サマリーの回覧はきちり出来ている 運営推進会議のアドバイスの報告も出来ている 運営推進会議でのことはあまり共有されていない気がする 運営推進会議のアドバイスは共有できているが実行は完全でないこともある 退院情報はケアマネから情報が入る 運営推進会議のアドバイスは明示しており、共有できている 助言は必ず開示し共有に努めている。 改善への努力も出来ている	運営推進会議でのアドバイスは書面にして配布できているが口頭では伝達できていないため、書面で伝達する	—
(4)適切な情報提供・共有のための基盤整備										
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	4	7			ショートカンファレンスがきちり出来ている 新規の事前情報や個々の状況等、朝礼やカンファレンスを通して出来ている 特変事項は共有できている 朝礼、連絡ノートなどの伝達方法で状況把握できている 他職種で常に話し合いを行っている	日々の朝礼のときショートカンファレンスをほぼ毎日実施しており、その場で問題提起、解決策の構築を行っている。	—
(5)安全管理の徹底										
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	1	7	3		緊急体制はもっと話し合いが必要 連絡網や訓練を通じたシミュレーションはできている 緊急時の対応は共有できている 緊急連絡網の確立、定期的な火災訓練の実施はできている 防犯対策は万全とはいえないかもしれません 自身、台風、防災についての対策がどこに揭示されているのかわからない 災害時や緊急体制などはもっと細かく行い訓練などもっと綿密に行う必要があると感じている 職員の安全確保の取組みも出ていないと思います	冬場の送迎時16時になれば車の電気を点灯するなどの決まりなども作成することが重要 防災訓練の実施も早急に実施する	・緊急時すぐに対応が出来る様に、マニュアルも作成しないといけない。職員も変わるのを定期的に訓練する必要がある。いつも管理者が居るわけではなくので管理者が居なくてもスムーズに対応出来る様に訓練しておく必要がある。 ・緊急通報の使用法の周知が必要。一人対応の方法をきちり決めておくことが重要である。。
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられていると共に、管理者や職員において共有されている	4	3	4		取り扱いについての規則がどこに保管してあるかわからない 個人情報の取り扱いについて具体策は決まっておらず気をつける程度 個人データ、ファイルの持ち出しは行わないようにと通達がある 事務所の壁のかかる棚に保管されている 個人情報の取り扱いについては出来ていないことが多い 誰もが目につく所においていることも多々ある	マニュアル作成だけでなく、実際実施できているか。そこにちやくもてんくように周知徹底していく	・USBのロックをしっかり行うべき。 ・個人情報が入ってくるので守秘義務をしっかり守る必要がある。仕事上、簡単に目に付く環境であると思うが人に漏らさない様に周知徹底するべきである。